

令和2年度 第1回飯田市行財政改革推進委員会 議事録

日時：令和2年8月6日（木）13：30～15：10

場所：市役所 A203・A204会議室

出席者：下平会長、畠中委員、林委員、山下委員、樋口委員、宮嶋委員、中山委員、菅沼委員、森下委員、
稲垣委員、篠田委員、西塚委員
木下副市長（行財政改革推進本部長）、櫻井総務部長、塚平財政課副参事、岡本人事課長、
田中企画課長

欠席者：坂委員

1 開会

2 あいさつ

（下平会長）

今日は広島に原爆が投下されてから75年となる。その後8月9日に長崎に原爆が投下され、日本は世界で唯一の被爆国となった。みなさん平和には敏感になっていると思うが、この先、平和がずっと続いていく社会になっていくことを願う。

気候変動や新型コロナウイルスなどの影響もあるが、資本主義経済が危うくなり、小さな政府路線の歪みが顕著に現れている。官から民へと公務員の削減、社会保障費の抑制など財政再建の決め手のように言われて、必要不可欠なところまで手を付けたということも要因ではないか。そういう点で、国の政策は少し間違っているのではと感じている。新型コロナウイルスが感染拡大の一途である今、国民の生命と財産を守る必要至急の財政支援自体は、絶対に欠かせないものであり、大きな政府もやむを得ないという感じも抱いている。今後財政再建には、経済成長からの税増収や消費税の引き上げなどで対応していくのではないかと思うが、そうしたことも含めたいうでの行財政改革推進委員会になればと感じているのでよろしく願いしたい。

本日は、飯田市が指定管理者制度を導入している施設の管理運営状況等について、この委員会において第三者評価を行う。施設ごとの実績から評価した結果について改めて説明を受け、それぞれの立場でご意見や提案をいただきたい。

もう一点として、今年度中に市が策定する次期飯田市行財政改革大綱の内容について諮問をされ、本推進委員会の意見を聞くという機会が設けられる。これを受けて、今後数回にわたり内容の協議をしていくので、このことについても委員各位のご協力をお願いしたい。

今年は春から、新型コロナウイルスの感染拡大により異例づくめの状況となった。緊急事態宣言、長期にわたる自粛、当地域内での感染者の発生、新しい生活様式、第2波の到来など、環境は一変している。7月には豪雨災害も重なり、いろいろな不安が付きまとい、これからどうなるか全く見通しが立たない状況にある。こうした中、明日の天気は変えられないが、明日の生活と行政は変えられるという心意気で臨んでいただければと思っている。忌憚のないご意見をいただきたい。

（木下副市長）

本年度第1回の行財政改革推進委員会を開催したところ、お忙しい中また暑い中お集まりいただき感謝申し上げます。ただ今3名の委員のみなさまに任命書を交付した。前任者の任期を引き継ぎ、それぞれのお立場でご助言、ご提案をいただくようよろしくお願いしたい。

本日は、指定管理者制度導入施設の管理運営状況について第三者評価をいただきたい。行政サービスの中でも施設サービスは、市民のみなさまにとってたいへん身近なものであることから、その適正な管

理運営の重要性を認識しながら取り組んでいるところではあるが、ご意見をいただく中で、改善して参りたいと考えている。

今年は、新型コロナウイルスの感染拡大、7月の豪雨災害など地域経済や市民生活に大きな影響を及ぼし、先行きを見通すことがなかなか難しい状況となっている。こうした中で、現行の行財政改革大綱が来年3月末で終了することになるため、次期行財政改革大綱の策定について、後ほど諮問をさせていただきたい。今般の緊急事態への対応については、市としても全力で取り組んでいるところであるが、様々な事業やイベントの中止、働き方の変化、生活環境など、個々の意識も大きく変化している。そうした意識と乖離することなく、取組を進めていかなければならないと思うところである。難しい取組ではあるが、審議をよろしくお願ひしたい。

3 協議事項

(1) 指定管理者制度について

指定管理者制度の概要 資料1-1、指定管理者制度導入施設一覧 資料1-2

【塚平財政課副参事説明】

※質問・意見なし

(2) 令和2年度指定管理協定期間終了施設の実績評価に対する意見聴取について 資料2

No. 1 飯田市箱川郷づくり研修センター、No. 2 飯田市法山地域振興センター

【土屋ムトスまちづくり推進課長説明】

(樋口委員)

両施設とも、老朽化への対応やバリアフリー化が必要であるとあるが、例えばあと何年くらいで老朽化の対応をしなければならないとか、何年くらい先にバリアフリー化をするとか、課題対応の時期についてお聞きしたい。

(土屋ムトスまちづくり推進課長)

飯田市法山地域振興センター（以下「法山」という。）については、地域から相談があった。1～2年の内に、何らかの対応をしたい。

(樋口委員)

飯田市箱川郷づくり研修センター（以下「箱川」という。）はどうか。

(土屋ムトスまちづくり推進課長)

箱川の施設は若干新しいのでそこまでには至っていないが、地域と相談しながら対応したい。

No. 3 飯田市多世代交流プラザ、No. 4 飯田市千代デイサービスセンター 【筒井長寿支援課長説明】

(森下委員)

多世代交流プラザについて、建設の際には市の補助金もあったが、住民からも1世帯8万円の寄付を募った。エアコンの取り付け等、修繕費もまちづくり会費から負担している。公民館の分館などほかの施設よりも使い易いので利用者も多い。近隣の公園整備も含め地元での管理が行き届いており、問題はない。

No. 5 飯田市保健休養施設、No. 6 飯田市天龍峡温泉交流館 【宮沢観光課副参事説明】

(下平会長)

飯田市保健休養施設は廃止ということだが、地域の理解は十分得ているか。

(宮沢観光課副参事)

ここ数年、地域のみなさんと検討する中で、建物も古くなっていて耐震上の課題もあるので廃止はやむを得ないと理解をいただいている。

(下平会長)

飯田市天龍峡温泉交流館（以下「天龍峡温泉施設」という。）は、以前にもいろいろあった。そらさんぽ天龍峡も開通したわけだが、またこういう状況になって心配なところもある。十分な協議をしていただきたい。

(宮沢観光課副参事)

しっかり対応していく。

No. 7 飯田市中村コミュニティ消防センター、No. 8 飯田市下黒田東コミュニティ消防センター、No. 9 飯田市北方コミュニティ消防センター、No. 10 飯田市寺所コミュニティ消防センター、No. 11 飯田市清水コミュニティ消防センター、No. 12 飯田市毛賀コミュニティ消防センター、No. 13 飯田市新井コミュニティ消防センター、No. 14 飯田市東平コミュニティ消防センター、No. 15 飯田市水城コミュニティ消防センター、No. 16 飯田市龍江四区コミュニティ消防センター、No. 17 飯田市下虎岩コミュニティ消防センター、No. 18 飯田市明コミュニティ防災センター、No. 19 飯田市駄科コミュニティ防災センター 【松下危機管理室次長説明】

(森下委員)

ある地区の消防センターについて、火を使わないようにとか、料理教室をやらないようにとか言われ、今までは使えたのにどうしたらいいかという話を聞いた。実態はどうか。

(松下危機管理室次長)

管理運営に関しては協定を結んでおり、その中に詳細があるので確認する。協定に沿って運営されていけば問題ない。後ほど、どこの地区か教えていただければ確認する。

(下平会長)

今後、施設を払い下げるとしても有償でとか無償でとかいろいろある。例えば国から市へ払い下げとか、県から市へ払い下げとか取扱いがいろいろあると思うが、そのあたりはどうなるのか。

(今村行革・施設マネジメント係長)

全体的話として、払い下げについては公共施設マネジメントの協議で見直しを進めており、その中で検討している。国や県から払い下げがあったりするが、その施設の条件や、背景により統一した方式はないのでその都度対応する。集会施設についても、地区の実情があるのでしっかり協議をさせていただきながら見直しを進め、ご説明し、ご理解をいただくよう配慮していく。

(下平会長)

よろしくお願ひしたい。

No. 20 飯田市営住宅等（2号・3号・4号市営住宅及びその共同施設等） 【鋤柄地域計画課長説明】

※質問・意見なし

No. 21 飯田総合運動場 【青木参事兼生涯学習・スポーツ課長説明】

※質問・意見なし

No. 22 飯田勤労者体育センター、No. 23 飯田市勤労青少年ホーム 【秦野飯田市公民館副館長説明】

(樋口委員)

飯田総合運動場（以下「総合運動場」という。）は屋外なのでという話があり、飯田勤労青少年ホームは、若者向けドローンの講習会の話があった。総合運動場でドローンの有料講習会を行えば、収入が増えて採算が合う。若者向けの講習会をやったらどうか。

(青木参事兼生涯学習・スポーツ課長)

様々なアイデアや、工夫を凝らした運営が今後必要と考えている。ドローンについては、規制や規約を確認して検討させていただく。

(畠中委員)

今年に入ってから、新型コロナウイルスの問題が起きていろいろな行事が中止になっているが、指定管理施設の利用状況はどうか。

(今村行革・施設マネジメント係長)

細かく実態を把握して数字を持ち合わせていないので、何%というのは難しいが、緊急事態宣言により公の施設も一時的に閉鎖した。その際は利用者は完全にゼロになった。屋外施設は別として、屋内の施設は利用者がゼロという状況が1ヵ月ほど続いた。その後もそれぞれの施設で指定管理者に努力していただいているが、数字が回復してきているという報告はいただいているので、大きく影響している。

(島中委員)

先が見えない話なので、施設の利用状況や運営状況は早めに手当てなり対応策を考えていかないと、今後の存続が難しい。そうしたことも、しっかり対応していただきたい。

(菅沼委員)

各施設の決算状況を確認すると、決算額がプラスマイナスゼロというケースが多い。おそらく指定管理者の別の会計で補填をしたうえで、この施設の決算としては収支がゼロで締めることができたとして理解する。施設として見れば健全経営に見えるものの、指定管理者の負担になっているという実態はないのかということが心配されるがどうか。

(今村行革・施設マネジメント係長)

特に、そうした状況にある施設は、コミュニティ防災センターとか、法山、箱川の施設。何れも集会施設で、市の補助金を使って建てて、実態は地域のみなさんに使ってもらっている。建設にあたっての協議の中で、どうやって建てるかご相談させていただいた際に、運営経費は地区で負担してもいいので補助金を受けて建てたいという要望があり、そういうやり方でやっていくという合意の中で行っている。そのほかの指定管理施設とは若干色が違うが、問題はない。

(山下委員)

天龍峡温泉施設について、指定管理者が指定管理を退きたいというのが気になった。新型コロナウイルスの影響という話も出たが、こうした業界は新型コロナウイルスの影響に非常に苦慮しており、今後どの程度の影響が続くかも見通せない。そういった業界を一生懸命応援しているが、今後も、新型コロナウイルスの影響が続くと、指定管理者に手を挙げる人がいないのではないのかという危惧もある。候補者の目途があるのか、制度自体も綻びが出たりしないかと心配するがその状況をお聞きしたい。

(塚平財政課副参事)

天龍峡温泉施設は、単純に温泉や飲食を提供するという管理だけではない。天龍峡観光の一体を担う施設で重要度がかかなり高く、ほかの一般的な施設とは違う。これまで地元の蕎麦づくりの団体の方が献身的にやってこられたのでたいへんありがたく思っていた。最近高齢の方が増えてきたことを理由に辞退されるということで、観光課も年明けからずっと話をしている中でどういった対応をするか検討している。地元のまちづくり委員会とも、どういった方をお願いできるか何度も協議を重ねている。正式に公募するのはこれからなので、まずは、飯田市の中でやっていただける方がいるのがメインではあるが、そういった方がいなければ全国的にそういった管理運営に長けている方をお願いするというのも考えている。公募して決定するのが来年3月までと期間が短いので、最悪、新しい指定管理者が見つかるまでの間は直営で繋ぐということも考えられるが、今はそういったことではなく、一緒に天龍峡観光を盛り上げていただける新しい指定管理者が見つかるような方策を検討している。

(山下委員)

できれば外資ではなく、地区内の事業者等に円滑に引き受けてもらえるよう検討していただきたい。

(下平会長)

指定管理者制度の側面がだんだん見えてきた感じがする。料金設定の問題、利用許可の公平性を守れるかどうか、問題があったときに指定管理者にクレームを持っていきにくい、継続性の担保、しん

どくなったら辞めることが可能で辞めた後の後継者が見つからないのではないか、事業を継続して積み上げることができない、そこに働く労働条件が厳しいなど、そうした側面があると思うがどうか。
(今村行革・施設マネジメント係長)

ご指摘はそのとおりだと思う。制度が始まってだいぶ経った。制度自体は当初より整理されているが、今の社会情勢や環境変化などに追いついていない。飯田市においても同様な状況にあるので、しっかり見直しをするよう進めている。料金設定についても、料金収入があるような稼げる施設については、適正な価格を設定して利用いただく。許可が適正に行われているか、苦情を言にくいとかいろいろあったが、指定管理者とのヒアリングを毎年行っており、そこで様々な確認をしつつ、要望等もいただいている。また、アンケート調査等を行いその中でそうした声を聞いていきたいと考えている。様々なことを整理して見直しを行ったうえで、今のような問題に対応していきたい。

(下平会長)

よろしくお願ひしたい。

個別施設の意見はそれぞれ対応をいただくとして、各施設の市の評価結果と今後の方針は概ね妥当と判断し、第三者評価としたいがよろしいか。

(各委員)

異議なし。

(下平会長)

これを以って第三者評価とする。

(3) 現行の飯田市行財政改革大綱（平成29年度～令和2年度）について 【塚平財政課副参事説明】

※質問・意見なし

4 次期行財政改革大綱の策定について（諮問）

※次期飯田市行財政改革大綱の策定について、審議を求める。

※答申時期 令和2年10月中旬

5 今後のスケジュール 今年度行財政改革推進委員会開催予定

・第2回（令和2年9月14日 予定）

次期行財政改革大綱の方向性について（協議）ほか

・第3回（令和2年9月28日 予定）

次期行財政改革大綱の方向性について（協議・答申）ほか

・第4回（令和2年12月～令和3年1月頃 予定）

今後の財政見通し、公共施設マネジメントの取組（優先検討施設の検討状況等）ほか

・第5回（令和3年3月末頃 予定）

行財政改革大綱に基づく実行計画ほか

6 その他

事務連絡

(木下本部長)

本日は委員のみなさまから多くのご発言をいただき御礼申し上げます。いただいたご意見は今後の施設管理の取組に反映させながら、良質な施設サービスの提供に生かしてまいりたい。また、次期大綱については、今後数回にわたりご協議をいただくのでご協力をよろしくお願ひしたい。

7 閉会